SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

株式会社サンマルクホールディングス

2027年3月期上期決算説明資料

2026年11月25日

証券コード: 3395



経営理念

We Create the Prime Time For You

私たちはお客様にとって最高のひとときを創造します

私たちは食事を売るのではなく、「最高のひととき」を売る会社です
「美味しかった」ではなく、「楽しかった」と言われるお店を目指し
日々励んでおります

2027年3月期上期サマリー

既存店成長と新規出店により増収を継続したが、人件費・広告宣伝費をはじめとするコスト上昇を十分に吸収することができず減益

鎌倉パスタ・牛カツ業態の出店に加え、海外FC展開や、和の主力業態となるつるとんたん事業のM&Aを推進

2027年3月期上期実績

売上高	営業利益	のれん等償却前営業利益[1]
449億円	**16**億円	**27**億円
前期比 +3.2%	前期比 △28.5%	前期比 △19.5%
計画比 △0.5%	計画比 △23.2%	計画比 △15.5%

業績予想（つるとんたん事業除く）

売上高	営業利益	のれん等償却前営業利益[1]
930億円	**45**億円	**66**億円
前期比 +5.2%	前期比 △12.6%	前期比 △8.9%

- 価格改定や付加価値商品の投入により原価上昇への対応を進める
- 最低時給上昇の影響をうけ、シフト作成方法の見直し等により人件費コントロールを進行中
- つるとんたん事業の譲受を決定、収益力の高い和ブランド確立に向けて大きく推進
- 同事業については、2027年3月期連結業績への影響を現在精査中のため、右記業績予想には未反映

M&A

つるとんたん事業の譲受

9月17日公表、12月1日取引完了予定

譲受価額： **128**億円

売上高 ： **61**億円

EBITDA ： 約**10**億円

（2026年3月期）



明太餡かけ玉子とじのおうどん

1：のれん及び商標権の償却費を営業利益に加算

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.



1 2027年3月期上期実績 p.5

2 2027年3月期見通し p.13

3 中期経営計画について p.19

4 Appendix p.36



1 2027年3月期上期実績 p.5

2 2027年3月期見通し p.13

3 中期経営計画について p.19

4 Appendix p.36

2027年3月期上期実績

既存店は客数・客単価ともに前年を上回り、売上高は増収、概ね計画どおりに推移

一方、原価率および販管費率の悪化が各段階利益を押し下げ、利益面では計画を下回った

(百万円)	2026年 3月期2Q	2027年 3月期2Q	増減額	増減率	計画	計画差	計画比
売上高	43,585	44,972	+1,386	+3.2%	45,200	△227	99.5%
売上原価	11,619	12,124	+504	+4.3%	–	–	–
原価率	26.7%	27.0%	+0.3pt	–	–	–	–
販売費及び 一般管理費	29,601	31,158	+1,556	+5.3%	–	–	–
販管費率	67.9%	69.3%	+1.3pt	–	–	–	–
のれん等償却前営業利益	3,456	2,782	△674	△19.5%	3,292	△510	84.5%
売上比	7.9%	6.2%	△1.7pt	–	7.3%	*△1.0pt*	–
営業利益	2,363	1,689	△674	△28.5%	2,200	△510	76.8%
営業利益率	5.4%	3.8%	△1.6pt	–	4.9%	*△1.1pt*	–
経常利益	2,250	1,629	△621	△27.6%	2,100	△470	77.6%
経常利益率	5.2%	3.6%	△1.5pt	–	4.6%	*△1.0pt*	–
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,048	587	△461	△44.0%	1,000	△412	58.7%
純利益率	2.4%	1.3%	△1.1pt	–	2.2%	*△0.9pt*	–

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

事業別・種類別決算概要

（単位：百万円）

事業別

種類別

	2026年3月期2Q	売上比（%）	**2027年3月期2Q**	売上比（%）	増減	直営店売上	ロイヤリティ収入	FC関連等売上
売上高	43,585	100.0	44,972[1]	100.0	+1,386	43,839	150	982[1]
レストラン	29,418	67.5	30,124	67.0	+706	29,431	124	568
うち、牛カツ業態	8,717	20.0	8,388	18.7	△329	8,067	91	228
喫茶	14,166	32.5	14,671	32.6	+504	14,407	25	238
セグメント損益	3,531	–	3,117	–	△414			
レストラン	1,950	–	1,940	–	△9			
うち、牛カツ業態	316	–	321	–	+5			
喫茶	1,581	–	1,176	–	△405			

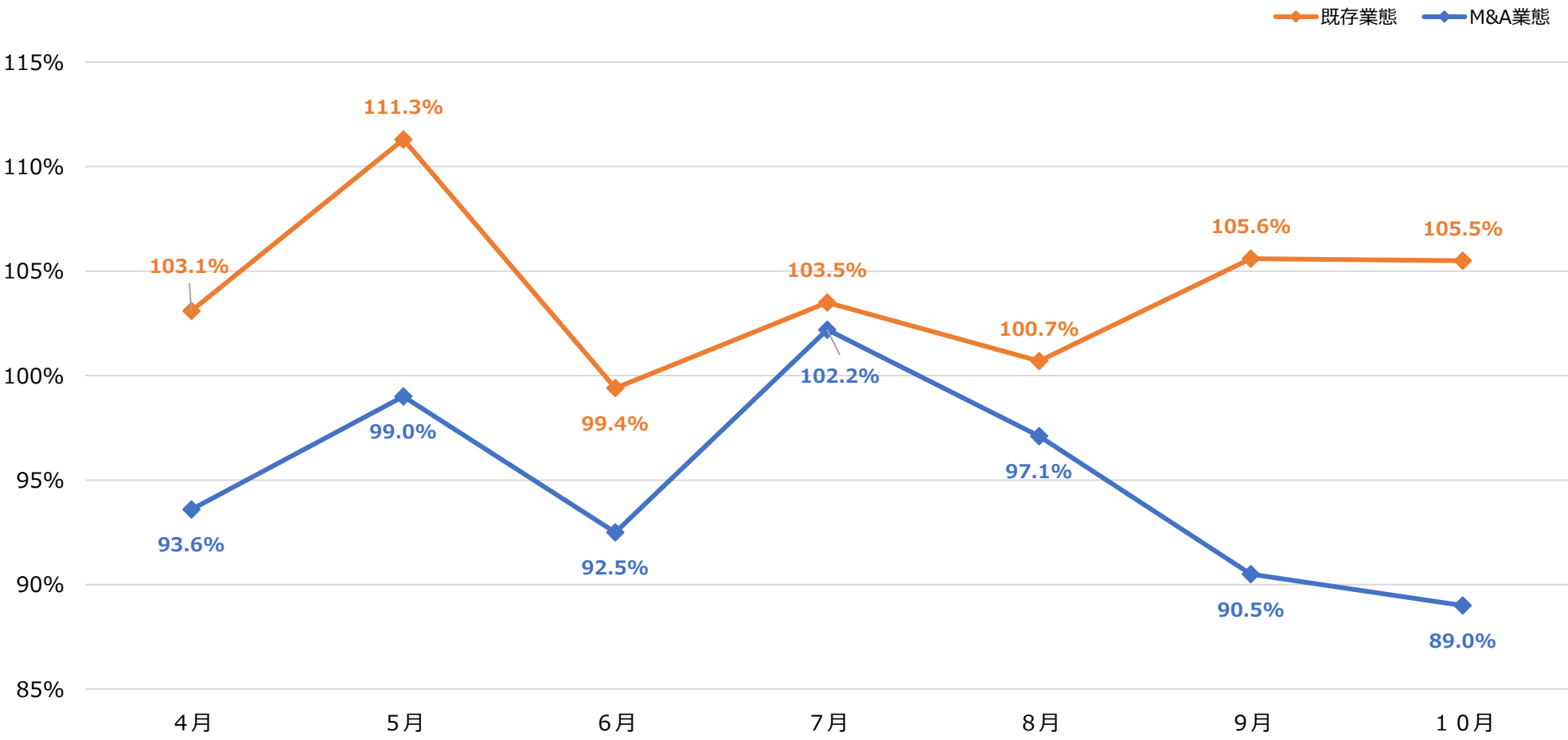
1: 2027年3月期2Q売上高には当社による食資材の外部販売に係る176百万円を含む

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

既存店前年比売上高推移

既存業態は前年対比で概ね100%以上の水準を維持

M&A業態は前年の万博やアジア地域における渡航動向の変化の影響が当初予測を上回り、客数減少



SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

バランス・シートの状況

現預金121億円、自己資本比率46.8%
つるとんたん事業の譲受価額128億円は全額借入金で調達するため、自己資本比率は低下見込

資産の部

	2026年9月末	前期末増減	主要因
流動資産	**19,391**	△2,892	
現預金	**12,133**	△2,739	
売掛金	**5,940**	△513	
固定資産	**48,110**	△58	
有形固定資産	**18,848**	+942	
無形固定資産	**18,230**	△1,085	M&Aに伴うのれん・商標権償却
投資その他の資産	**11,032**	+84	
資産合計	**67,502**	△2,950	

負債・純資産の部

(単位：百万円)

	2026年9月末	前期末増減	主要因
流動負債	**12,246**	△1,427	
買掛金	**3,180**	△325	
短期借入金(１年内返済予定長期借入金含む)	**3,100**	–	
固定負債	**23,639**	△1,652	
長期借入金	**15,903**	△1,550	借入金の返済
負債合計	**35,885**	△3,079	
純資産	**31,617**	+129	
負債純資産合計	**67,502**	△2,950	

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

キャッシュ・フローの状況

減益に伴い営業キャッシュ・フローが前期比で減少したことに加え、出店に伴う設備投資の増加により投資キャッシュ・フローが増加し、フリーキャッシュ・フローはマイナスとなった

財務キャッシュ・フローはM&Aに伴う借入の返済が主

（単位：百万円）	2026年3月期2Q	**2027年3月期2Q**	増減	主な要因
現金及び現金同等物の期首残高	14,247	**14,872**	+625	
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,153	**2,349**	△1,804	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,781	**△2,981**	△1,200	
フリーキャッシュ・フロー（営業活動＋投資活動キャッシュ・フロー）	2,371	**△632**	△3,004	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,147	**△2,106**	+1,040	・長期借入金の返済 ・配当金の支払
現金及び現金同等物の期末残高	13,508	**12,133**	△1,374	・2026年3月期2QはLa Madragueを連結の範囲に含めたことによる増加36百万円を含む

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

出退店の状況（国内店舗＋海外店舗）

2027年３月期の新規出店は40～50店舗、退店は30～35店舗を計画しており、期初想定から変更なし

業態（国内）	期首	出店	退店	上期末
サンマルク	35	-	-	**35**
サンマルクカフェ	289	3	2	**290**
函館市場	9	-	-	**9**
バケット	72	5	1	**76**
鎌倉パスタ	210	10	3	**217**
サンマルクグリル	55	1	2	**54**
倉式珈琲	48	-	1	**47**
La Madrague	6	-	2	**4**
京都勝牛	78	7	4	**81**
牛かつもと村	36	2	-	**38**
京都すし処八八	-	1	-	**1**
実験業態[1]	5	-	1	**4**
国内合計	**843**	**29**	**16**	**856**
京都勝牛海外FC	25	4	1	**28**
グループ連結	**868**	**33**	**17**	**884**[2]

京都勝牛（海外）	期首	出店	退店	上期末
韓国	1	-	-	**1**
台湾	8	-	-	**8**
香港	1	-	-	**1**
タイ	3	1	1	**3**
インドネシア	6	-	-	**6**
フィリピン	2	1	-	**3**
カナダ	1	-	-	**1**
シンガポール	2	1	-	**3**
オーストラリア	1	1	-	**2**
海外合計	**25**	**4**	**1**	**28**

非連結子会社	期首	出店	退店	上期末
トラスパレンテ（国内）[3]	-	15	-	**15**
SSEA（海外FC）	3	-	-	**3**
極品國際餐飲（台湾直営）	2	-	-	**2**

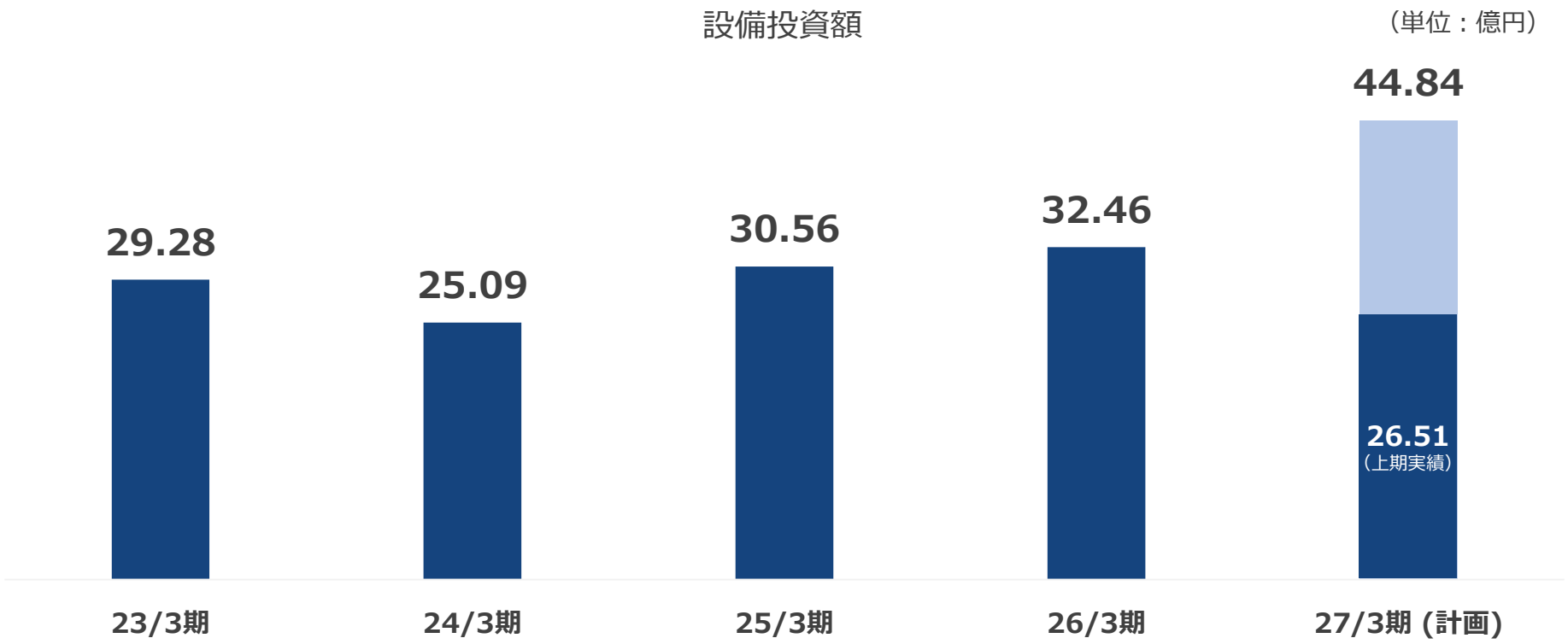
1: 実験業態には「天ぷら天清」、「韓と米」、「FAMITERIA.8」、「RISTRETTO&CROISSANT LABORATORIO」を含む。
2: 直営827店舗、FC 57店舗
3：株式譲渡実行日（2026年7月1日）時点の店舗数14店舗、株式譲渡実行日後の出店数1店舗

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

設備投資・減価償却費：実績と計画

2027年３月期上期(実績)
設備投資：2,651百万円　減価償却費：1,264百万円
出店29店舗、既存店改装36店舗、その他厨房機器更新等

2027年３月期通期(計画)
設備投資：4,484百万円　減価償却費：2,667百万円　出店想定：40～50店舗



SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.



1 2027年3月期上期実績 p.5

2 2027年3月期見通し p.13

3 中期経営計画について p.19

4 Appendix p.36

2027年3月期通期見通し

つるとんたん事業の連結業績に与える影響を精査中のため通期業績予想を取り下げ、つるとんたん事業を含む業績予想が算定可能となり次第公表
下記はつるとんたん事業を除いた通期業績予想(ご参考)
既存店売上高は下期も上期と同様にインフレ率見合い(3%程度)の上昇を見込む

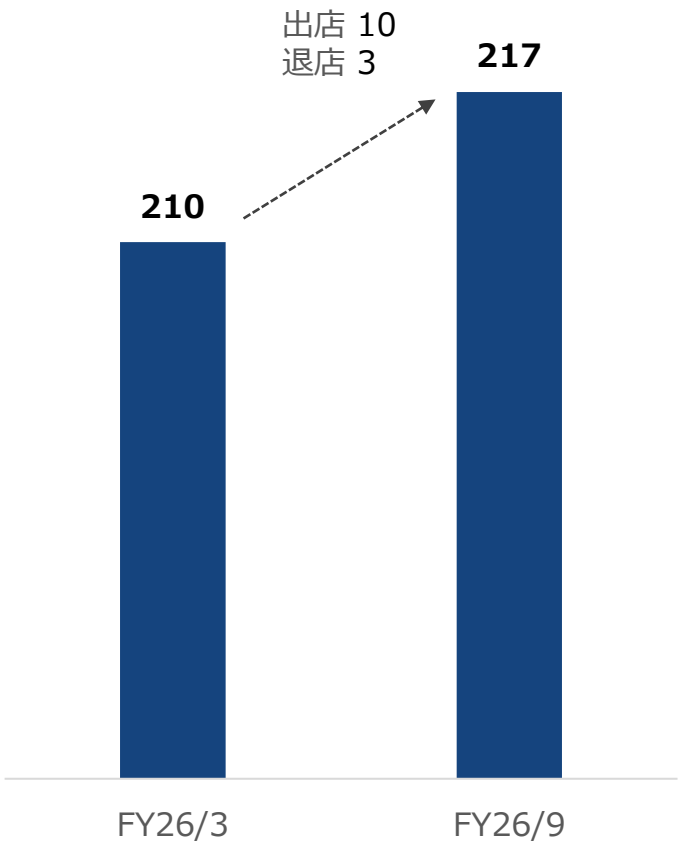
(百万円)	2026年3月期			2027年3月期計画		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	通期計画
売上高	**43,585**	**44,846**	**88,432**	**44,972**	**48,027**	**93,000**
前年比	*+32.3%*	*+18.2%*	*+24.7%*	*+3.2%*	*+7.1%*	*+5.2%*
のれん等償却前営業利益	**3,456**	**3,878**	**7,334**	**2,782**	**3,903**	**6,685**
前年比	+89.3%	+64.2%	+75.0%	△19.5%	+0.6%	△8.9%
利益率	7.9%	8.6%	8.3%	6.2%	8.1%	7.2%
営業利益	**2,363**	**2,785**	**5,149**	**1,689**	**2,810**	**4,500**
前年比	*+29.4%*	*+53.2%*	*+41.3%*	*△28.5%*	*+0.9%*	*△12.6%*
営業利益率	*5.4%*	*6.2%*	*5.8%*	*3.8%*	*5.9%*	*4.8%*
経常利益	**2,250**	**2,807**	**5,058**	**1,629**	**2,670**	**4,300**
前年比	*+13.6%*	*+51.0%*	*+31.8%*	*△27.6%*	*△4.9%*	*△15.0%*
経常利益率	*5.2%*	*6.3%*	*5.7%*	*3.6%*	*5.6%*	*4.6%*
親会社株主に帰属する当期純利益	**1,048**	**1,656**	**2,705**	**587**	**1,512**	**2,100**
前年比	*△37.3%*	*+90.8%*	*+6.5%*	*△44.0%*	*△8.7%*	*△22.4%*
純利益率	*2.4%*	*3.7%*	*3.1%*	*1.3%*	*3.1%*	*2.3%*

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

鎌倉パスタ：グループを牽引するブランドとして成長を継続

好調な出店ペース（上期10店舗出店）に加え、高付加価値メニューにより粗利率向上に取り組む
派生業態の特性を生かしたメニューの打ち出し、出店場所の見直しにより増収増益に向けて前進

店舗数



2027年3月期上期における施策

鎌倉パスタ

極みシリーズなど高単価メニューの継続的な打ち出し


極　ブッラータチーズと
ロースト茄子のミートソース


極　紅ズワイガニとブラックタイガーの
冷製海老クリームソース


極　ワタリガニと菜の花の
トマトカルボナーラ

おだしもん

豆腐食べ放題など客層に合わせてメニューのブラッシュアップ


豆腐食べ放題


豆乳と米粉の自家製チーズケーキ


ハーフ&ハーフセット

てっぱんのスパゲッティ

これまでの実績踏まえた勝ちパターン立地（駅近/フードコート）への出店を続け、利益創出を目指す



ミーナ天神店


リンクス梅田店



南町田グランベリーパーク店

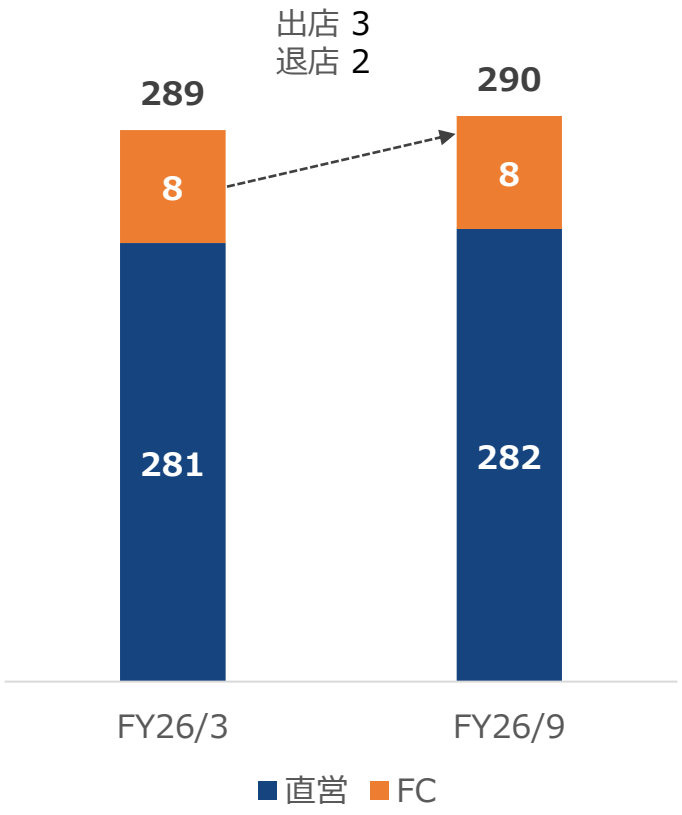
SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

サンマルクカフェ：ビジネスモデルの見直し

高付加価値チョコクロによる客単価向上で売上高は伸長したものの、人件費など各種コストのコントロールに課題が残り減益となった

下期はビジネスモデルの再構築を優先して安定的な収益構造の確立を目指す

店舗数



2027年3月期上期における施策

来店動機獲得のための時間帯施策



あさマルクカフェ



ひるマルクカフェ

新作チョコクロ





- 高付加価値チョコクロ
- 期間限定メニューの継続的な打ち出し
- ビジュアル◎味◎でドリンク＋1品により粗利率改善に取り組む

コスト対策

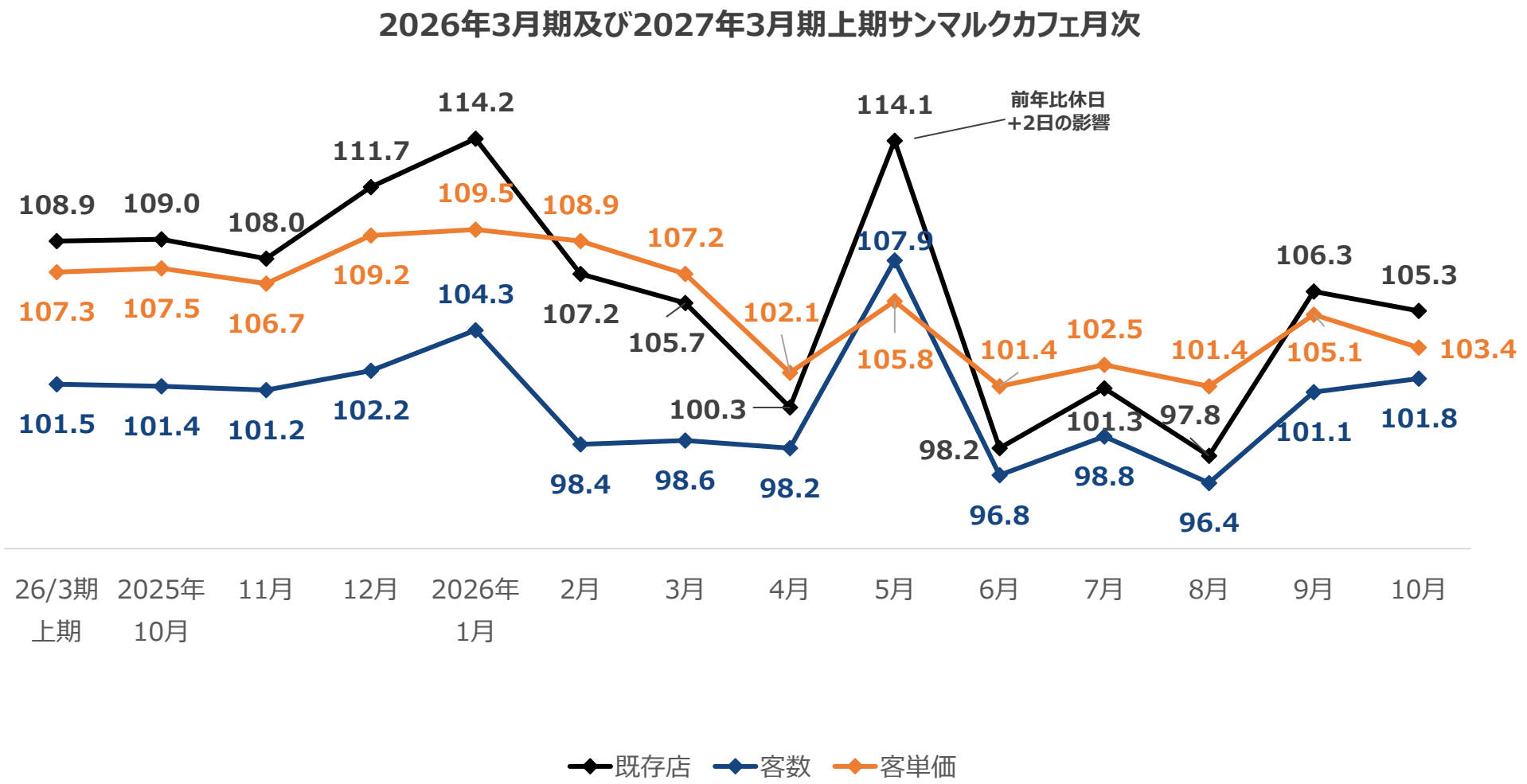
人件費	シフト作成のモデルの見直し、管理プロセスの強化、シフト作成の自動化
販促費	マーケ施策の絞り込み、広告宣伝費のROIを精査

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

サンマルクカフェ：ビジネスモデルの見直し

夏場苦戦した客数は、9月・10月と前年比プラスへ転じた

客単価は前年比プラスで推移し、既存店売上は概ね100%水準を確保　今後は客数のプラス定着に向け、施策の見直しを進める

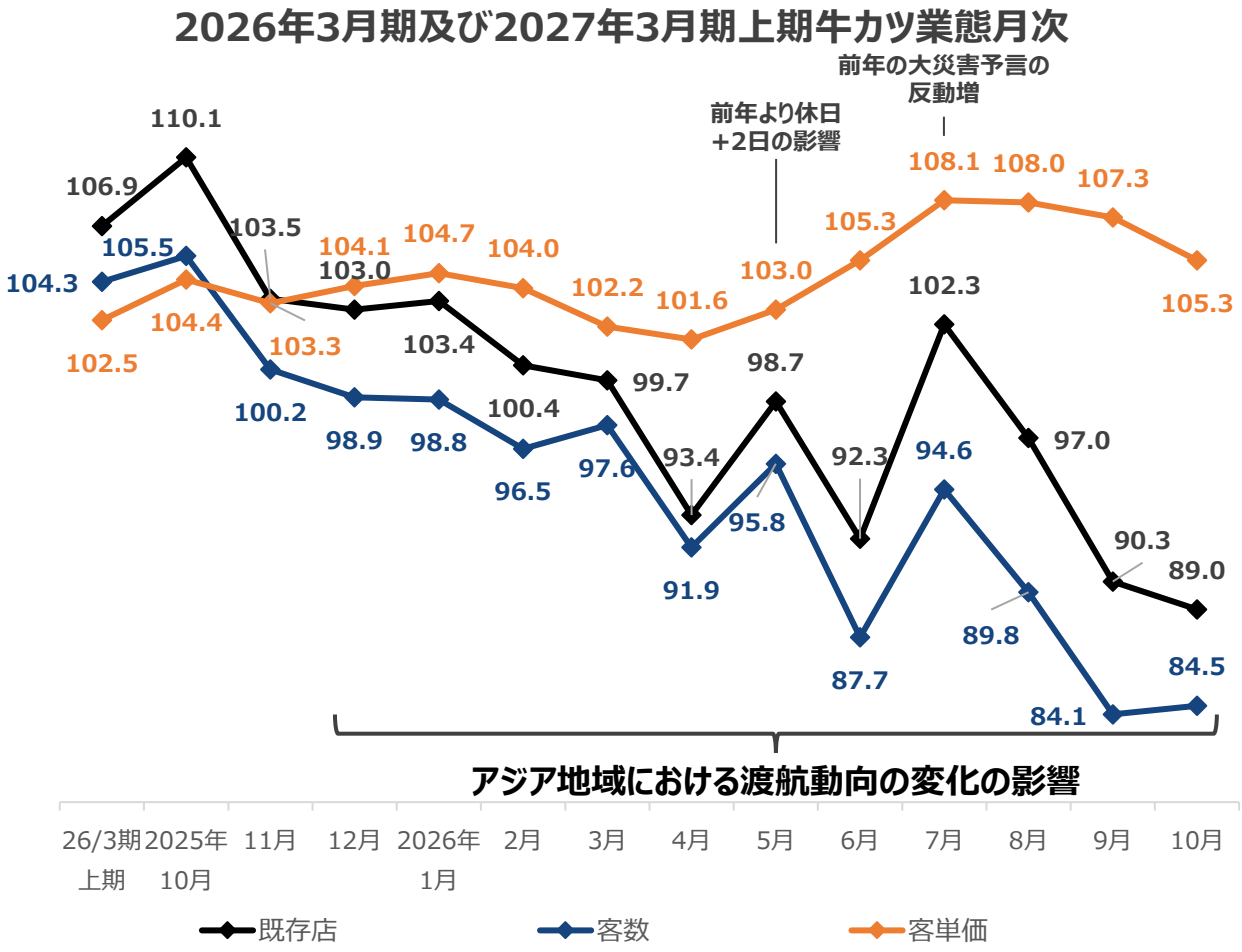


SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

牛カツ業態：中長期成長ドライバー

アジア地域における渡航動向の変化の影響により既存店客数は軟調となるも、高単価メニューによる客単価上昇により収益性を維持

国内既存客の需要向上を目指し、派生業態・出店モデルの見直しを進める



施策



京都駅八条口みやこみち店
小型店モデル



京都ハンバーグ食堂コネル
派生業態出店で売上好調



京都勝牛：SUINA室町店
朝食メニューの導入



もと村：新宿本店
高単価牛カツ御膳

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.



1 2027年3月期上期実績 p.5

2 2027年3月期見通し p.13

3 **中期経営計画について** **p.19**

4 Appendix p.36

成長戦略の進捗

24年5月に発表した中期経営計画の進捗は、利益面が遅れている状況

M&A戦略では、和の高収益業態であるつるとんたんを獲得

2027年3月期上期における進捗評価

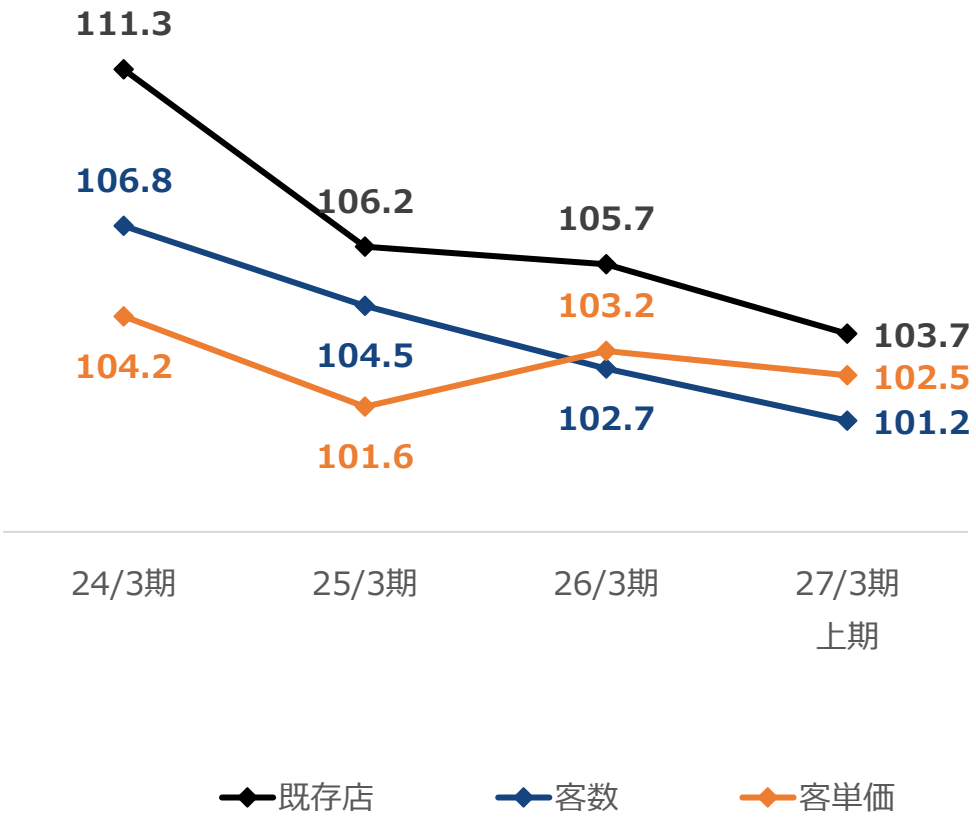
領域	方針	評価	実績
レストラン業態 (鎌倉パスタ)	• 「鎌倉パスタ」業態の継続出店および派生業態の出店により、パスタ業態のポテンシャルを最大化	○	✓ 上期において10店舗を出店 ✓ 売上は前年より好調に推移したが、人件費やコスト高の影響を受け、利益は計画よりやや悪化
カフェ業態 (サンマルクカフェ)	• 「サンマルクカフェ」業態を中心とした運営効率の改善	△	✓ 4月に値上げを実施し、客単価は上昇したものの、販促施策で客数を伸ばしきれずに減益となった ✓ 賃金上昇により人件費が増加し、減益幅拡大。下期はシフト最適化によりコストを抑制
M&A	• 既存の有望業態の強化や、M&Aによる新ブランドの獲得など、29/3期以降の成長の軸となる第3のブランド確立に向けた投資	◎	✓ つるとんたん事業、トラスパレンテのM&Aをそれぞれ発表、実施 ✓ 牛カツ業態はアジア渡航制限の影響を受けたが、グループの高収益業態として引き続き牽引

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

鎌倉パスタ業態における成長の継続

既存店は、引き続き客数・客単価ともに前年を上回って推移

出店・リブランディング・派生業態の3本柱で成長を継続



業態	上期の状況
鎌倉パスタ	■ 上期は6店舗の出店 ■ フェアや極みシリーズなど高単価メニューの訴求を継続し客単価の安定的な推移を実現
おだしもん	■ 上期は2店舗を新規出店 ■ 豆腐食べ放題や米粉を用いたチーズケーキなど、客層に合わせてメニューをブラッシュアップ ■ だしを活かしたパスタの開発に加え、「あまいもん」として新作スイーツの創出にも注力
てっぱんのスパゲッティ TEPPAN SPAGHETTI	■ 上期は2店舗を新規出店し、合計11店舗となった。これまでの実績踏まえた勝ちパターン立地（駅近・フードコート）への出店を続け、利益創出を目指す

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

株式会社サンマルクカフェの吸収合併について

株式会社サンマルクカフェを当社へ吸収合併し、サンマルクカフェ事業部として運営体制を一体化する

ビジネスモデルの再構築により、増益フェーズへの移行を目指す

吸収合併概要

決議・契約締結日	2026年11月18日開催の取締役会で決議し、同日に合併契約を締結
効力発生日	2027年4月1日（予定）

本合併の目的

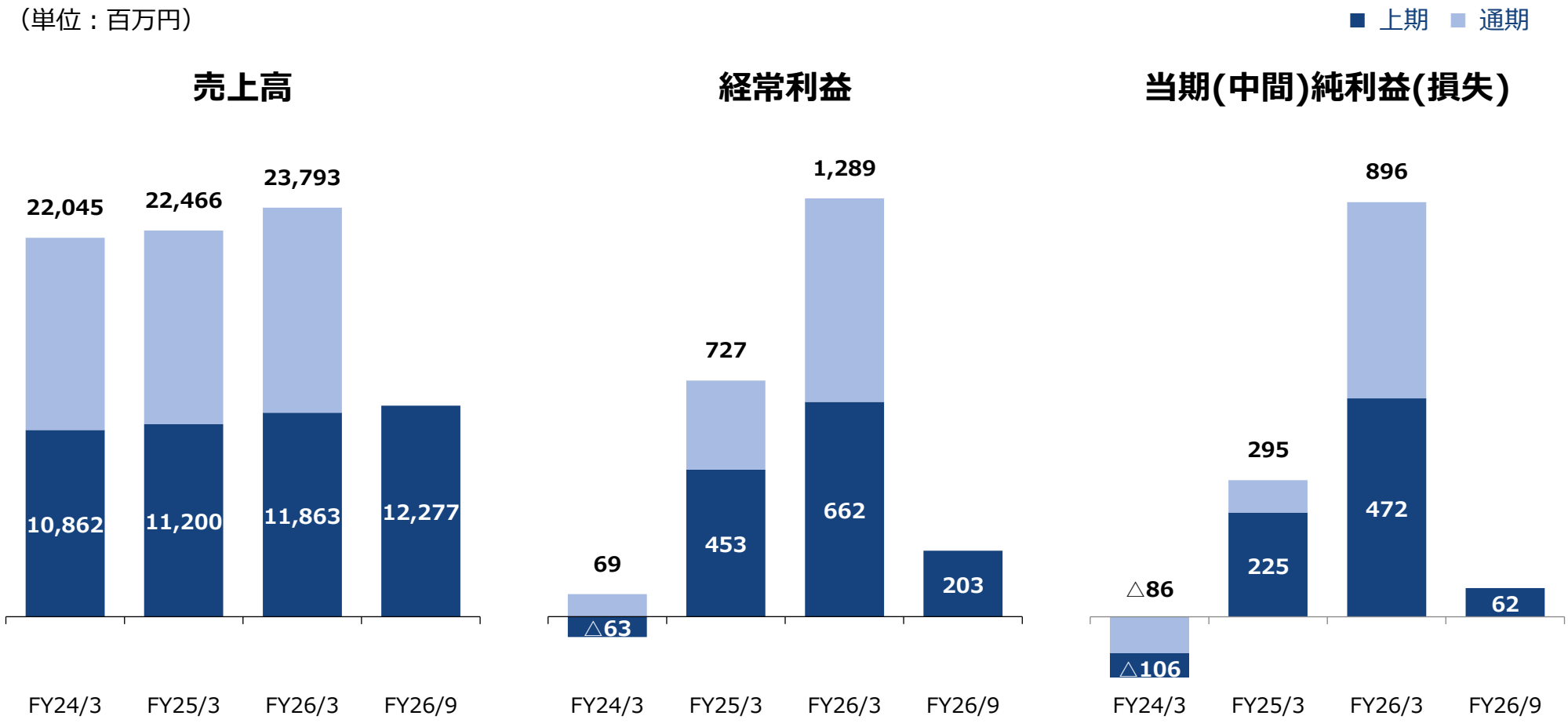
- 期間限定商品の投入や販促施策の強化、店舗運営の効率化を進めているものの、原材料費・人件費・物流費等が上昇する中で、これらコスト増加を十分に吸収するには至らず、更なる収益力向上が課題
- ビジネスモデルの再構築の必要性を検討した結果、当社に吸収合併し、サンマルクカフェ事業部として当社が直接運営する体制へ移行する
  - 経営資源の集約
  - 組織運営の効率化
  - 迅速な意思決定と収益力の向上を実現するとともに、将来的な店舗網の拡大による持続的な成長を目指す

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

サンマルクカフェにおける業績の推移

2024年3月期以降、増収増益を継続。2027年3月期上期は増収となるも、販管費の増加を吸収しきれず減益

（単位：百万円）



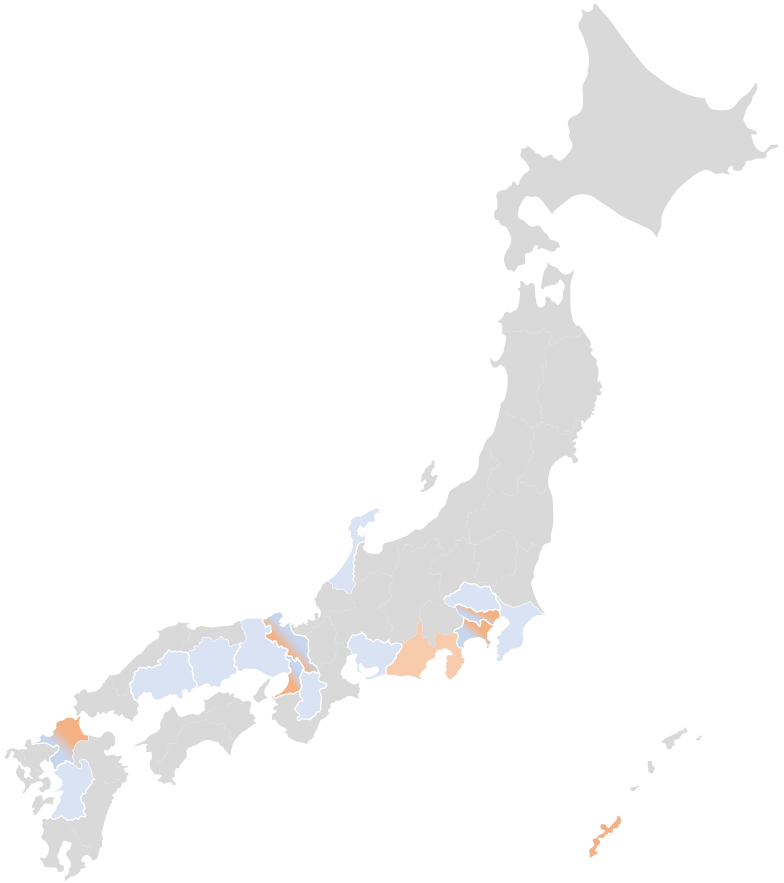
SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

国内事業方針

予約システム導入店舗の拡大で機会損失を減らし、インバウンド客の取り込みを強化
小規模店舗や派生業態の出店も進め、インバウンド客・国内既存客の双方が楽しめる新しい価値を創造し、潜在市場の拡大を図る

	牛カツ京都勝牛	牛かつもと村
東京都	13	21
神奈川県	5	1
埼玉県	1	—
千葉県	3	—
静岡県	—	1
愛知県	6	—
石川県	1	—
京都府	16	3
大阪府	11	6
奈良県	3	—
兵庫県	2	—
広島県	1	—
岡山県	1	—
福岡県	3	3
熊本県	1	—
沖縄県	—	1
合計	67	36

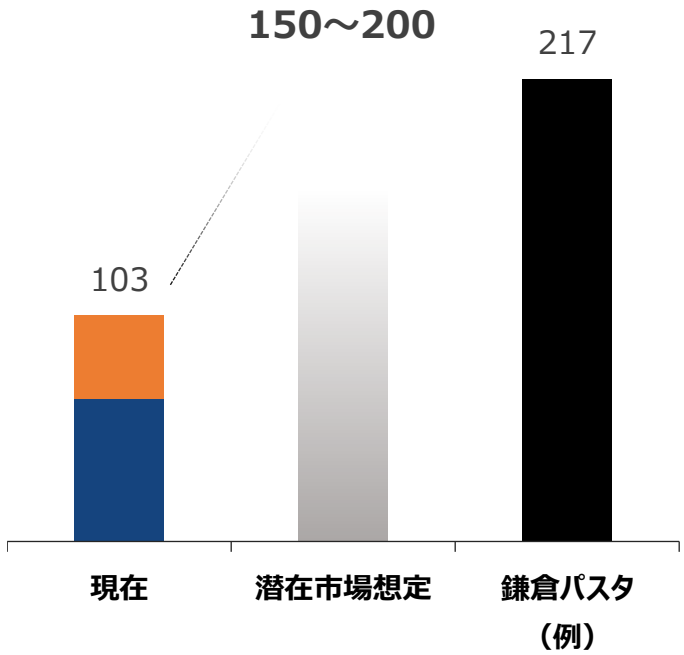
※2026年9月末時点店舗数



勝牛出店エリア

もと村出店エリア

牛カツ業態の潜在市場想定

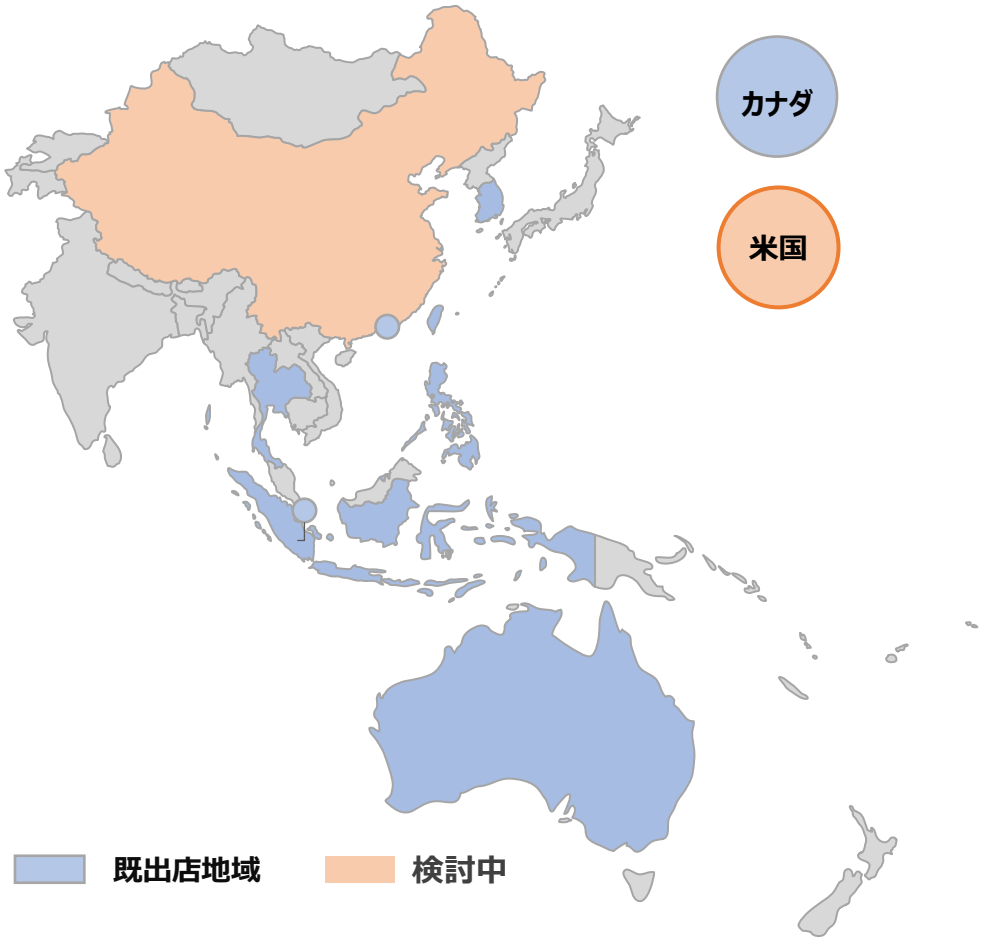


	牛カツ業態	パスタ業態
客単価	約2,400円	約1,600円

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

海外出店状況（地図・国別店舗一覧）

牛カツ業態を中心に海外9か国でFC展開　上期は4店舗を出店し、中国でのFC展開に向けた協議を推進





フィリピン Capitol 店
(2026年4月オープン)



オーストラリア Chatswood 店
(2026年9月オープン)

	2026年3月期			2027年3月期上期		
海外店舗一覧	京都勝牛	もと村	カフェ	京都勝牛	もと村	カフェ
韓国	1店舗	－	－	**1店舗**	**－**	**－**
台湾	8店舗	2店舗	－	**8店舗**	**2店舗**	**－**
香港	1店舗	－	－	**1店舗**	**－**	**－**
タイ	3店舗	－	－	**3店舗**	**－**	**－**
インドネシア	6店舗	－	－	**6店舗**	**－**	**－**
フィリピン	2店舗	－	1店舗	**3店舗**	**－**	**1店舗**
カナダ	1店舗	－	－	**1店舗**	**－**	**－**
シンガポール	2店舗	－	2店舗	**3店舗**	**－**	**2店舗**
オーストラリア	1店舗	－	－	**2店舗**	**－**	**－**
合計	25店舗	2店舗	3店舗	**28店舗**	**2店舗**	**3店舗**

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

新規グループイン：つるとんたん事業

うどん専門店「麺匠の心つくし つるとんたん」事業を吸収分割により2026年12月に承継予定

ブランド価値・希少性を維持しながら、国内主要都市圏での計画的な新規出店により規模を拡大

事業概要

承継元	株式会社ケー・エキスプレス
対象事業の内容	うどん専門店「つるとんたん」の運営
譲受価額	128億円
効力発生日	2026年12月1日（予定）

成長戦略

- ✓ 新規出店エリアは東京、京都、札幌、仙台、横浜、名古屋、神戸、広島、博多等を想定
- ✓ グループ物流網で原材料・資材を安定調達し、調達コストを低減
- ✓ ASEANを始めとした将来的な海外展開

ブランド

店舗数（2026年11月25日現在）
国内直営 13店
海外FC 2店

売上高（2026年3月期）
61億円

EBITDA（2026年3月期）
約10億円 ※資産調整勘定発生見込み


TsuruTonTan UDON NOODLE Brasserie 六本木


麺匠の心つくし つるとんたん 宗右衛門町店


つるとん三昧


馬刺し 盛り合わせ

- ✓ メニュー総数100種類以上とバリエーション豊富な和の専門業態
- ✓ 空間設計にこだわった店舗で非日常体験

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

新規グループイン：株式会社トラスパレンテ

ベーカリーカフェ「トラスパレンテ」を運営する株式会社トラスパレンテを2026年7月に完全子会社化

高品質な製パン技術とブランド力を取り込み、グループのベーカリー価値をさらに高める

会社概要

本社所在地	東京都目黒区
設立	2012年２月
事業内容	ベーカリーカフェ「トラスパレンテ」の運営
店舗数	東京、神奈川、静岡でカフェ併設型ベーカリー15店舗

成長戦略

- ✓高品質な製パン技術とブランド力をグループに取り込む
- ✓当社の出店ノウハウ・経営資源の活用により成長を加速

ブランド



トランスパレンテ中目黒店・外観





✓ パン作りの全工程を店内工房で一貫しておこなうスクラッチベーカリー製法により作り上げられる高品質なパン

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

ブランドポートフォリオ展開イメージ

和の主力ブランドとなるつるとんたんをグループへ迎え、ポートフォリオを拡充

当面は大型買収はストップし、各業態の収益性改善および売上規模拡大に注力

収益性高



① **主力ブランド化に向けた収益性の改善**

② **主力ブランド化に向けた規模の拡大**

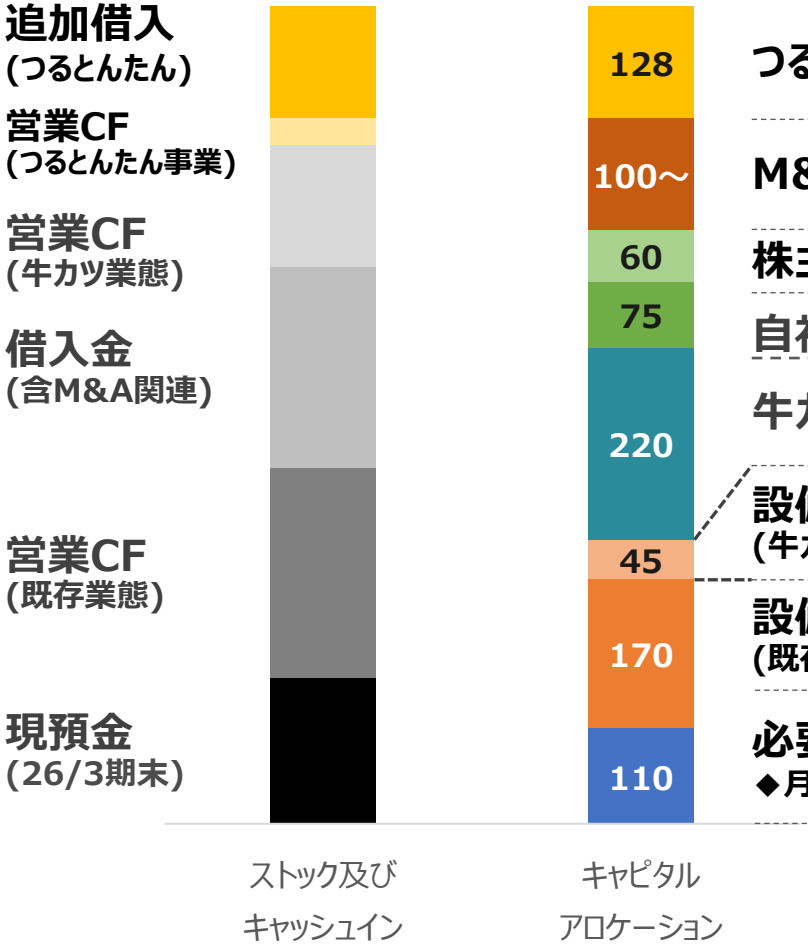
③ **次世代ブランド化に向けた収益性の改善**

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

29/3期に向けたキャピタルアロケーション

つるとんたん買収（128億円）は追加借入で実施
当面の大型買収を止め、収益力改善と借入金返済で自己資本比率を高める

キャピタルアロケーション(25/3期～29/3期)



つるとんたん事業のM&A	予定	
M&Aの借入返済及び利払		
株主還元(配当)		下限を50円として増配基調を想定
自社株買い	実施済	実施済みの自社株買い2件にかかる金額
牛カツ業態のM&A	実施済	京都勝牛及び牛かつもと村の買収にかかる投資額
設備投資(牛カツ業態)		従来の設備投資額を維持
設備投資(既存業態)		新規出店や改装、システム関連投資等 (当初中計の設備投資額を維持)
必要現預金 ◆月商2か月分程度		従来100億円の見込に対して M&Aによる増収を考慮し増額

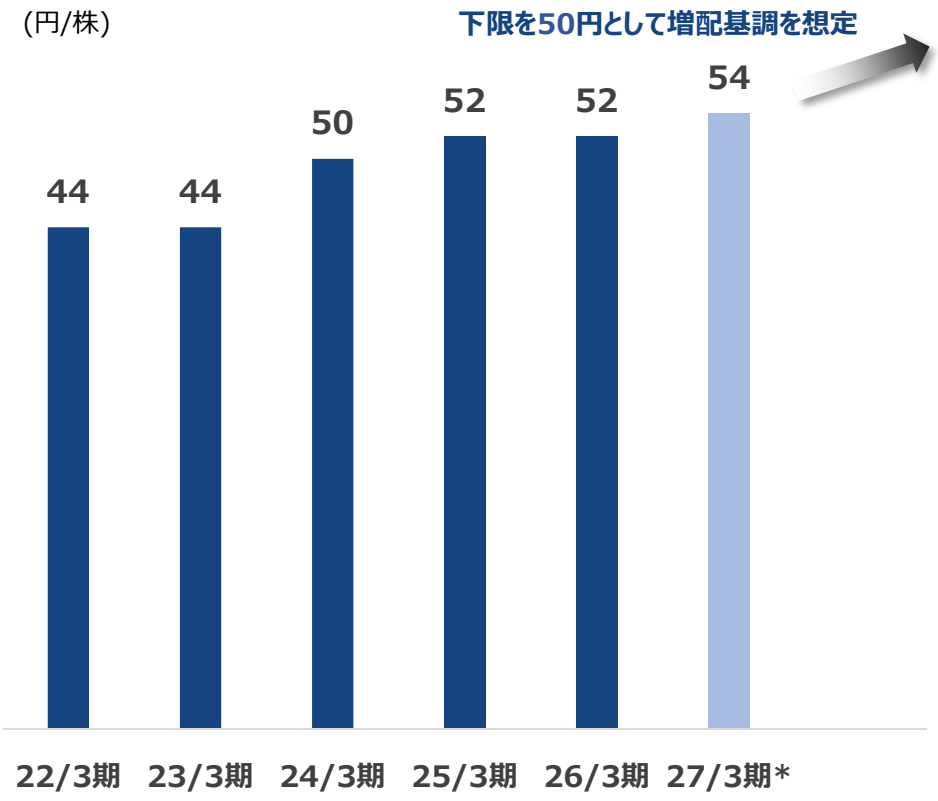
SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

株主還元及び株主優待

株主還元方針は継続予定

株主優待について対象業態の拡大と継続保有要件の追加を実施

株主還元



*27/3期については予想値

株主優待



当社グループ直営店及びFC店における割引が利用可能な株主様ご優待カードは継続を想定

プレスリリース（2026年8月5日公表）

対象業態を追加 10/1～	**京都勝牛・牛かつもと村・La Madrague を追加（海外店舗除く）**
継続保有要件追加	**「半年以上の継続保有」を追加** 基準日（9月30日・翌年3月31日）の株主名簿に、同一株主番号で連続して記載・記録されていること

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

農事業への取り組み

食材の安定調達を目的として株式会社サンマルクファームを設立、2025年11月に熊本県宇城市にて耕作面積6.5haで営農をスタート

今年5月に約25tの小麦を収穫。生産した小麦を用いてサンマルク料理研究所、トラスパレンテにてパンを試作

来期からは農地を増やして米と小麦の二毛作を開始予定



播種（はしゅ）



出芽（しゅつが）



出穂（しゅっすい）



収穫



サンマルク料理研究所試作
フォカッチャ





トラスパレンテ試作
食パン、フランスパン

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

食料品消費税減税に関する対応

27年4月の食料品消費税1%減税を見据え、外食ならではの体験価値をさらに高め、最高のひとときを創造する
加えて、当社アプリを用いたモバイルオーダーの導入により、運営効率化とテイクアウトの強化を推進

外食ならではの体験価値の追求



チョコクロ教室

- チョコクロを自ら作り、出来立てを味わう参加型イベント
- グループ各社でパン教室関連の取り組みを強化
- 商品提供にとどまらず、独自の体験を幅広いお客様へ提供



牛カツを焼き上げる

- 自ら焼き上げる楽しさと、出来立てのおいしさを通じて、店舗でしか味わえない食体験を提供

myサンマルクアプリを用いたモバイルオーダーシステムを計画中

- レジでの待ち時間短縮など顧客価値を創造
- モバイルオーダー機能追加により、アプリ新規利用者を増加、アプリ内でのプッシュ通知などを活用し販促を行う

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

TOPIX見直しを踏まえた企業価値向上への取り組み

TOPIX見直しの概要

- TOPIX構成銘柄の定期入替では、流動性及び浮動株時価総額が重視される
- 当社は移行措置銘柄に該当し、四半期ごと8段階でTOPIX構成銘柄に占めるウエイトが低減する。2027年10月の再評価で継続基準を満たせば、ウエイト低減は停止

企業価値向上に向けた事業成長と資本政策両面での取り組み：

中期経営計画の推進

✓ 各業態の収益力向上によりキャッシュフローを持続的に成長させ浮動株時価総額を高める

資本効率・株主還元

✓ 資本コストを意識した投資・撤退判断

✓ 50円を下限とした増配基調の維持

✓ 株主優待対象業態の拡充

対話強化

✓ IR面談の積極的な実施

✓ 個人投資家向け情報発信の強化

✓ 成長戦略・KPIの開示充実

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

株主及び投資家との対話の実施状況（2027年3月期上期）

株主及び投資家の皆様への適切な情報開示と建設的な対話を通して、経営状況に対する適切な理解の形成とともに、対話内容を経営にフィードバックすることによる企業価値向上の実現を目指す

面談の状況

IR面談実績：33件 （前年40件）

主な対応者

SR・IR面談	代表取締役社長、取締役、IR担当者
決算説明会・動画	代表取締役社長
個人投資家向けIR説明動画	代表取締役社長

1. 対話の主なテーマや株主の関心事項

- 出店戦略
- 値上げ対応
- インバウンド動向と影響
- ブランドポートフォリオ
- ブランド別戦略
- M&A方針
- 株主優待
- 必要現預金
- 株主還元方針

2. 取締役会に対するフィードバックの実施状況

- 対話内容を取締役会において経営陣へ半期毎にフィードバック
- 特に重要事項は担当取締役より取締役会へ適宜報告

3. 対話を踏まえて取り入れた事項の例

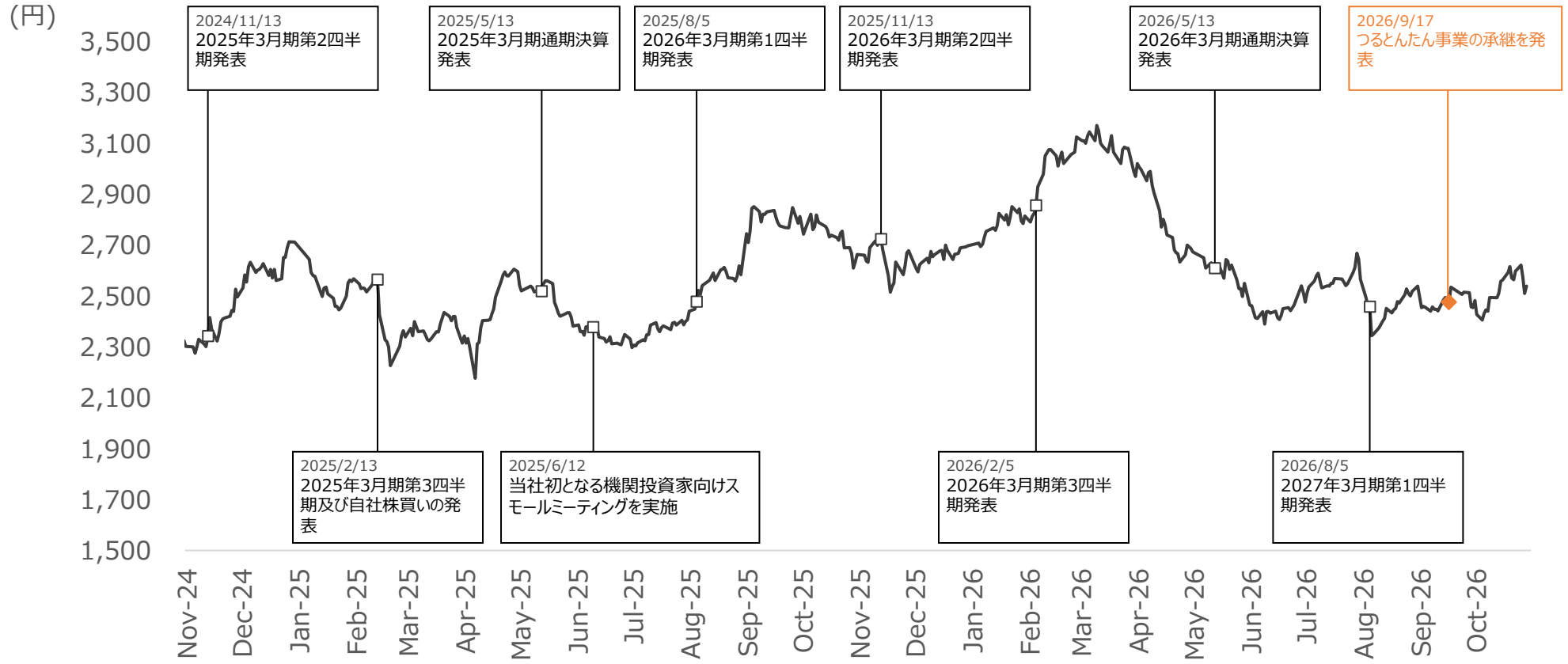
- 本中期経営計画を策定
- 株式会社フィスコによる当社の企業調査レポート発行



SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

株主及び投資家との対話の実施状況（2027年3月上期）

2024年10月のM&A発表以降、投資家との対話・取材の機会を継続的に頂いており、上期（4～9月）の売買代金は前年同期比で約15%増と流動性の向上が見られた
引き続き投資家との対話を通じて企業価値の向上に取り組む



	2025年3月期			2026年3月期				2027年3月期
	11月-1月 (2Q)	2月-4月 (3Q)	5月-7月 (4Q)	8月-10月 (1Q)	11月-1月 (2Q)	2月-4月 (3Q)	5月-7月 (4Q)	8月-10月 (1Q)
IR取材件数	12	14	20	21	20	19	18	15

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.



1 2027年3月期上期実績 p.5

2 2027年3月期見通し p.13

3 中期経営計画について p.19

4 **Appendix** **p.36**

事業概要

1989年にベーカリーレストラン「サンマルク」でスタート

以来飲食業の領域で展開を続け、現在は多様な飲食ブランドを直営中心に運営

2026年3月期業績

全社売上[1]: 884億円
全社営利※: 51億円

レストラン事業
売上※: 599億円 (67%)
利益※: 44億円 (60%)

喫茶事業
売上※: 284億円 (32%)
利益※: 30億円 (40%)

レストラン事業

「鎌倉パスタ」を中心に
20ブランド以上の
飲食ブランドを
直営店中心に運営

ショッピングセンターや
ロードサイドにて展開

喫茶事業

「サンマルクカフェ」を中心に
カフェ業態を直営で運営

駅ビル内や駅前、商店街、
オフィスビル内、ショッピング
センターなどにて展開

運営ブランド (一部, 店舗数は2026年3月末)

鎌倉パスタ
210店舗

ベーカリーレストラン サンマルク
35店舗

牛かつもと村
36店舗

京都勝牛
103店舗

サンマルクカフェ
289店舗

倉式珈琲店
48店舗

※ 全社費用・調整額は23億円であり、各事業のセグメント利益の割合は全社費用・調整額調整前セグメント利益に対する割合を示す

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

当社の基本戦略

高品質なサービスや仕組化、店内調理の体制を元に既存の成熟した市場を切り開き成長

① 店内調理へのこだわり

『出来立て』『焼き立て』の
おいしさを届ける



② 仕組化・効率化

店内調理を前提としながらも
スケールメリット等を活かし
様々な仕組化を行い効率化

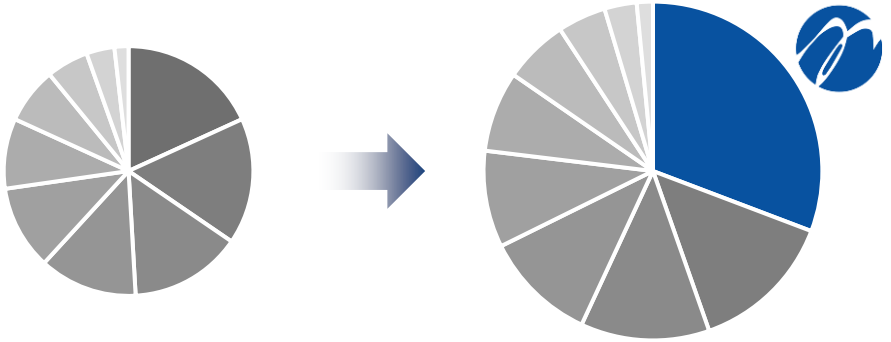


③ 高品質なサービス

効率化により生まれた時間で
より高品質な接客・サービスに
注力する



◆ 既存の成熟市場で高付加価値市場を開拓



成熟した市場においても高付加価値を求めるお客様を開拓
「高品質な飲食サービス」をシステム的に提供し、新市場を創る

◆ ブランド・ポートフォリオの構築

業態を問わず、システム的な展開
が可能な市場に展開
ブランド・ポートフォリオを構築し
業態を多く抱えることで出店力を
強化

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

ブランド紹介

それぞれの業態で独自の強みを持って展開

ベーカリーレストラン サンマルク

Bakery Restaurant
SAINT MARC
サンマルク

創業の業態であり、
ファミリーレストラン等に対し
“焼き立てパン食べ放題”などの
付加価値をつけて展開

京都勝牛及び 牛かつもと村

牛カツ 京都勝牛
牛かつ もと村

2024年にM&Aにより取得

牛カツ市場をリードする
2ブランドを運営

日本の食文化として
国内だけではなく
海外に向けても展開

鎌倉パスタ

生麺専門 鎌倉パスタ PASTA CAFE

パスタ業態のチェーン展開における
リーディングブランド

大手チェーンの中で随一
“生パスタ”専門で展開

サンマルクカフェ

HOCORO ST.MARC CAFÉ SINCE 1987 サンマルクカフェ

レストラン業態で深めた品質を
中心に据えた『ベーカリーカフェ』

多くあるコーヒーチェーンの中で
メジャーなセルフカフェと異なる
ポジションを意識した展開

うどん専門店 つるとんたん

麺匠の心づくし つるとんたん

2026年12月に事業承継を予定

和の主力ブランドとして
ポートフォリオを拡充

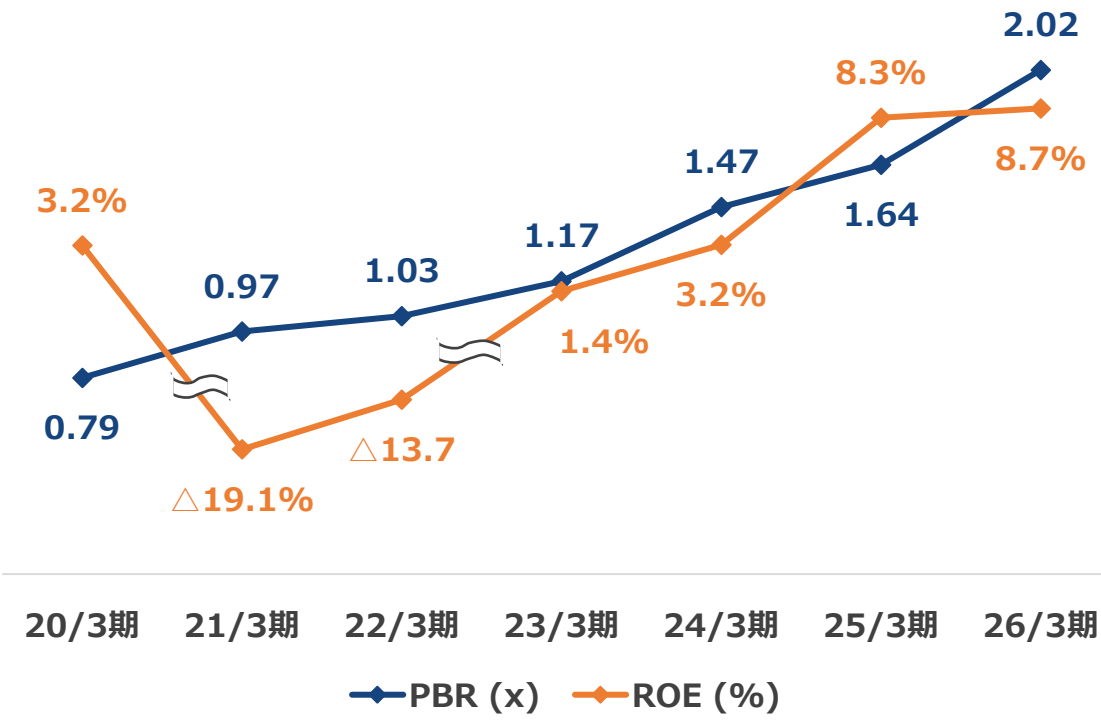
国内主要都市圏でのブランド価値・希少性を
維持した新規出店により規模を拡大

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.

当社の資本コストに関する認識とPBR及びROE

現在の当社のPBR及びROEと資本コストの前提は以下の通り

当社PBR及びROE推移



当社の想定する各資本コストの前提

株主資本コスト	7.0%程度	リスクフリーレート	3.0%
		ベータ	0.6程度
		市場リスクプレミアム	6%程度

計算式としてCAPMに基づく式を使用

WACC	5.0%程度	株主資本コスト	7.0%
		税引前負債コスト	1.2%

WACCは株主資本コスト及び税引前負債コストについて
株式時価総額と有利子負債に基づき加重平均を取る形で計算

SAINTMARC HOLDINGS Co.,LTD. All Rights Reserved.



本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。
これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。

将来予想に関する記述には様々なリスクや不確実性が含まれており、その結果、実際の業績や財務状況は、
将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内及び国際的な経済状況の変化や、
当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。